

おたの冬催し

令和2年1月13日(月・祝)

奉納はしご乗り

毎年成人の日に開催されている大森鳶組合のはしご乗り。約6メートルのはしごの上で、10種類以上の技を目の前で見る事ができます。演技終了後は、職人さんとの記念撮影コーナーやミニはしご乗り体験コーナーがあります。

時間 / 13:00~14:30
場所 / 池上本門寺大堂前
(雨天時は大堂の中で奉納のみ)

池上七福神めぐり

昭和56年に地元有志の願いで始まった「池上七福神」。各自マップを見ながら、7つのお寺を巡ってみませんか？

また当日色紙を購入し7つ御朱印を集めた方には先着500名様にプレゼントを差し上げます。なお当日、ゴールの池上本門寺階段下では、おみやげや物産品なども同時開催しています。

マップ配布時間 / 10:00~16:00
マップ配布会場 / 東急池上線「池上」駅前広場、池上本門寺階段下、養源寺、曹禅寺、厳定院、微妙庵
(10~13時/各お寺でボランティアガイドによる解説があります)

問合: 大田観光協会 ☎03(3734)0202

イベントスケジュール 12 1 2

12月	10(火)~2/2(日)	「東海道まちあるき」浮世絵スタンプラリー 大田区観光情報センター 他
	14(土)	町工BAR くりらぼ多摩川
	22(日)	ゆず湯 銭湯38施設
	31(火)	除夜の鐘 池上本門寺 他
1月	1(水・祝)~5(日)	羽田七福いなりめぐり 羽田地域の稲荷神社
	1(水・祝)~7(火)	多摩川七福神めぐり 新田神社 他
	7(火)	子ども流鏝馬 六郷神社
	13(月・祝)	池上七福神めぐり 池上地域の寺社 上記参照
	13(月・祝)	奉納はしご乗り 池上本門寺 上記参照
2月	26(日)	「東海道まちあるき」おたのしみウォーク 東海道かわさき宿交流館 他
	3(月)	節分祭 池上本門寺 他
	9(日)	初午祭 穴守稲荷神社 他
	6(木)~7(金)	おおた工業フェア 大田区産業プラザ
	14(金)・21(金)	おおたオープンファクトリー 臨海部エリア
	23(日)	梅まつり 池上・南之院駐車場、池上梅園前駐車場
	28(金)~3/2(月)	いきいき写真コンクール展示 大田区民ホール・アプリコ
29(土)	「大森海苔さんぽ」ツアー 事前申込制	

大田観光協会は会員の皆さま、地域の皆さまと大田の魅力をPRする活動をしています。

大田観光協会
(大田区産業プラザ2階)
大田区の「観光」についてのガイドや資料がご覧いただけるほか、見どころなどについて窓口で直接聞くこともできる「大田の観光」の情報発信基地!
(月)~(金)9~17時 (土)10~17時(休館日あり)

大田の観光冬

発行 / 一般社団法人大田観光協会

大田観光協会

検索

〒144-0035
東京都大田区南蒲田1-20-20
大田区産業プラザ2階
http://www.o-2.jp
TEL.03(3734)0202
FAX.03(3734)0203

やっています



地獄の沙汰

大森駅西口から池上通りの緩やかな坂を上っていくと、すぐ右に下る狭い階段が目に入る。下で待ち受ける細い路地が「山王小路飲食店街」。通称「地獄谷」と呼ばれる谷底の地には、いまでも40軒ほどのバー、スナック、小料理屋が軒を連ねている。

戦時中、小さな家の密集地であったこの地は、火の手が燃え広がらぬように強制撤去、すなわち「建物疎開」となり空き地となった。終戦直後は練炭の灰をはじめとするゴミ捨て場となったのだが、ほどなく池上通りの露天商が移り住み、やがてバラックのような飲み屋、バーが灯りを掲げた。当時、山王在住の高名な写真家、林忠彦氏は我が家に帰る仕上げの場所として「地獄谷」で

ドブクロをあおった。又、文豪・火野葦平が名付けた居酒屋「吾作」には馬込文士村の中心的存在だった尾崎士郎も通ったという。彼らは「真作」でカストリ(注)を飲んだ後、階段伝いに隣のバー「チェリオ」に向かうのを常としていた。はしごを思わせる階段をほろ酔いで行く。これが本当のはしご酒というわけだ。

やがて、「地獄谷」は近隣サラリーマンの憩いの場所となった。我が友は我が目と鼻の先にあるにもかかわらずフラフラと地獄へと吸い込まれていった。なにか特別なものがあるわけではないが、ここには動機人の心を癒す何かがあったに違いない。男という者はひっそりと妖しく灯る赤い灯、青い灯に吸い寄せられるものなのだ。

「地獄谷」の異彩は今も変わらない。ただ、ワインバー、イタリアンスナック等が進出し、女性の姿

が多く見られるようになったところ、時代の波を感じさせている。戦争直後の雰囲気や漂わせ「昭和レトロ」の匂いを強烈に発散させる地獄谷には毎晩多くの人々がさまよっている。この光景は今となっては貴重であり、風俗文化の語り部としていつまでも残って欲しいと切に願う。

最後に「地獄谷」の名前の由来を紹介しておこう。池上通りから谷に下る階段は急こう配。その昔、坂道が舗装されていなかったころ、泥酔客の多くが足を取られ蟻地獄さながら抜け出すことが出来なかったことに因るもの。これぞ、「地獄の沙汰も酒次第」である。

(注)「カストリ」:終戦直後に届いた粗悪な密造焼酎。米、芋などから急造しカスを取り除いたことから「カストリ」と言われた。

(写真:石原裕之氏撮影、大田区立郷土博物館提供)

岡茂光

大田の観光冬 野鳥

一般社団法人 大田観光協会 2019.12 No.35

シジュウカラ
スズメ目・シジュウカラ科
市街地、公園や街路樹 / 全長14.5cm

頭は黒く、胸に黒い帯がある。住宅街や公園でもよく見られ、木の枝や地面に降りて昆虫や木の实など、活発に餌を探すが見られる。

ヒヨドリ
スズメ目・ヒヨドリ科
庭木、街路樹、公園 / 全長27.5cm

身近な街路樹や公園の樹木のある場所で、ピーヨ、ピーヨと甲高い声で鳴く。目の下後方が茶褐色で、大きな波型を描くような飛び方も特徴。冬は草木の実などを食べて過ごす。

キンクロハジロ
カモ目・カモ科
湖沼や広い河川、池 / 全長43.5cm

雄の体は黒色、脇腹が白いツートンカラーで目が黄色い。雌は全身が黒褐色。潜水が得意で、貝や魚、水生昆虫、植物を食べる。

ツグミ
スズメ目・ヒタキ科
芝生、農耕地、河川敷 / 全長24cm

茶色で、胸のまだら模様の特徴。開けた場所で小走りに移動しては立ち止る姿が見られる。シベリア方面から越冬のため日本に飛来する冬鳥。

オナガ
スズメ目・カラス科
林や人家付近の樹木 / 全長36cm

ハトの大きさと、青みがかった翼と長い尾、黒い頭で見間違えることのない鳥。雑食性。この容姿からは意外なほどのダミ声で鳴く。

「モ」のつくりのまじりとして語りられることの多い大田区。そのもつくりの顔が、冬の水辺や木々の間にみられます。

大田は野鳥の宝庫!

23区唯一。日本野鳥の会のサクチュアリがある。

日本野鳥の会の「サクチュアリ」は、人と自然の出会いの場であり、自然保護の拠点。森や林、草原、水辺、自然散策路やネイチャーセンターがあり、レンジャーが常駐している。大田区には、全国8か所あるこのサクチュアリのひとつ「東京港野鳥公園」がある。

地名の鳥 千鳥・鶉の木・鶯

大田区には、昔から鳥が多くいたことを想わせる「千鳥」や「鶉の木」といった地名がある。野鳥の「チドリ」や「カワウ(鶉)」はどちらも多摩川などの水辺で観察できる。ちなみに大田区の「区」の鳥は早春を告げる「ウグイス」である。

大田区には、多摩川と東京湾があり鳥たちの居場所がたくさんある。



●日本野鳥の会東京 オススメの観察スポット

多摩川と東京湾に面している大田区には、さまざまな種類の野鳥が集う環境がある。洗足池など、街なかの水辺でもカワセミが見られ、一年を通じバードウォッチングに適した場所に恵まれている。

監修(鳥): 日本野鳥の会東京 写真提供
●日本野鳥の会東京・宇田川暉雄
★日本野鳥の会東京・栗原英志
◆あらいひろし